

Telegraph
reversing
only
by the day

自昭和三年十月十二日

著信電報

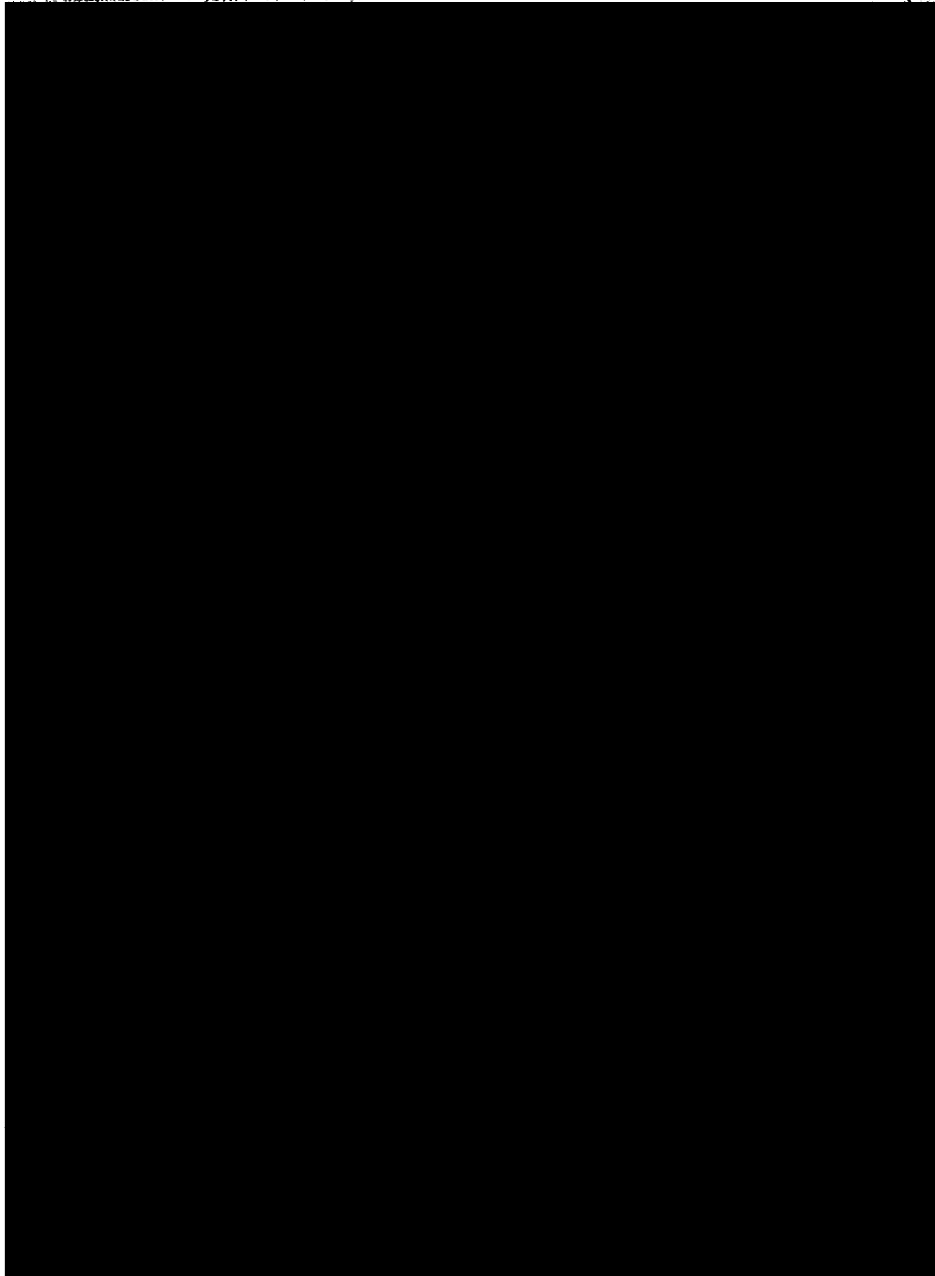
交通

09057

09 06
7-001
A

30069

0189



0190

生 普通 受領

軍参謀長

護朝六電某六八九號

朝六電某二三七號 基本本一〇〇六五 井邑弁軍用

列車ニテ米三〇俵 牛籠三〇箱 大田ニ又米一三五

俵ヲ釜山ニ辨送

受領ノ手配ニテ度ニ

註

前電二三七號ハ 大田某統(某)人給奉ノ因ニ件ナリ

一五〇二號
二三七三〇

井邑 三組

終

0191

生 普通

受付 〇

三週

軍参謀長

又電基一四六稿

十一月六日
十一月七日

京城

輸送

南解方面より、休暇軍人、部隊之依り、家族

携行、上部隊所在地之集合スルゾトヤ指示を以

て、輸送力、現況之鑑、容易之帰還之得

る者、除キ京城附近之家族ヲ有スル者ハ、尚

連絡班より直接釜山ニ出ルルニ、各部隊

ニ撤収せしむルニ、

終

0192

至急

要付

十日

高野

33

軍一巻澤長

倉山

輸送

- 一、土日現在滞り南番邦人八九ヶ所、收容所、計一萬七千五百名、本年本朝京城より三千名引揚者到着不収者外、満員ナリ
- 二、軍隊ノ輸送一五日差了、其邦人ノ大量輸送可能ナリ、今後一層ノ滞り南番邦人ノ世話、コソ最モ重要ナリト、信心總督府、幕内及世話ノ會方ヲ指導、激勵ノ事ヲ
- 三、本自軍軍士ノサレモ、軍医ヲ在下、協定シ、埠頭ニ
- 一、衛生兵ニテ、搬運シ、米量、協力ノ事、ナリ
- 二、軍医將校ニ、衛生兵、日夜、軍医將校

0193

引揚部人其者修療之任也
如之處可也
四、重原新道ハ至極調ニシテ
米量ノ於テ又文句也

冬山連絡班長

0194

輸送

陸普電第392號

軍參謀長

引揚ガ軍民ニ關スル聯合軍總司令部規下ニ

於ケル意向存、如シ
カイワホンニ

一引揚ガ計畫ハ聯合軍總司令部ト日本

於テ充分ナル連絡合意ノ上決定スルコト

二中國向配船ハ差當リ現在、儘トス

三華人勞務者ノ還送ハ速ナルヲ要スルモ内地在住

臺灣人ノ歸國ハ中國側ニ於テ希望シヤサル由

不煩更即派遣軍ニ於テ之善知カシク度

五五

二二五

東京

26

三組

0195

四二日約數十萬、内地在住朝鮮人、帰國ニ関シテハ
具体的方針未定ナリ
五米側ニテ外地ヨリ空船スル時ハ日本帰還
輸送ヲ援助スルニトアルニシ（現ニ仁川ヨリ二萬名
ヲ引揚ガ中）
通電先 榮威台 築

次官

0196

至急

一九三〇

20

三組

軍參謀長

釜山

朝鮮参電第二四五号送

偷送

一内地人、朝鮮ヨリ内地向十二萬七千八百三十九名

(内軍隊輸送一萬三百五十五名ヲ含む)

二内地ヨリ朝鮮人、朝鮮向輸送人員十二萬

一千八百五十八名

三在人員ハ運送會及廣島鐵道局、調査ニ

依ルモノトス

釜山連絡部

朝鮮参電第二四五号ハ九月中ニ行ケル輸送実績ノ件

0197

輸送

生 至急

筆參謀長

久電第八號 久電迄

休職軍人家族、軍隊、其、港氣船、事、許可

非、軍隊主力、輸送完了、待、度

又、目下、筆隊、日、満員、乗船、ア、テ、餘、枯、ナ、シ

十月十日

八言

久保、副、長

金山

三知

0198

生普通

軍參謀長

15.13.9.

15.14.0.

12
年三組

禮里

護鮮參電第二号

在全州休暇附與光州師管区部隊將兵約二百

五十(家族共約一千)十月末日迄三歸隊兼定元

タル釜山運終片ニ出頭ノ爲特ニ配車セラルルカ

或ハ禮里ニ於テ歸隊スル如ク許可セラレタシ返

輸送

終

普通

15日15時35分

16時0分

軍參謀長

護鮮奉電第三號

置群山の荷積一千噸、相當る船舶及一〇往復分

の燃料了、之ヲ以テ日鮮相互引揚者、交換輸

送送、實施云々在群山引揚希望邦人三千ヲ消化

鐵道輸送、負擔ヲ緩和シ得ル付許可セラルル如ク

取計ハ度返

一六。師運路班長

終

程里

(4)

第二組

0200

生 至意

軍參謀長

京城

15.8.15 15.10.51
第二組

又電第一五六号

一昨一日迄ニ於ケルニ運給受附休職軍人

同家族数左ノ如シ

軍人 三。九五 家族 一。五四五

輸送

二受附八本日ヲ以テ終了セシム豫定ニシテ京城ノ

ミミハ合計ニ萬余仁川ヲ含む場合ハ二萬

五千ヲ超過スル見込ニ

三右軍人家族ノ輸送ハ二一日頃ヨリ實施イタシタ

ク計畫中

四十本京仁地区以外ノ休職軍人再入心者家族

数ヲ收容地区ニ集メテ
(通電先大田參考)金山

0201

至急

受付 10

15. 11. 30

16. 8. 20

第一組

軍務課長

釜山

一、久電第一五六號、休職軍人家族、釜山來船一般引揚が邦人トシテノ來船取扱ニ依リ軍服ヲ着用スル私服着用ノ可トモ意見

輸送

ナリトモ意見

二、赤軍當局ハ毎日京城ヨリ三千名、其他鐵道沿線ヨリ五千名輸送ノ意向ナルモ船舶毎日輸送力ハ平均八百名ト見シ

右輸送開始ハ釜山滞留人員ノ事前處理ヲ為シヨリ以降ノ可トモ

釜山連絡部長

0202

並り通 十月十六日 三〇五 一四一組

輸送

軍令部 謀長

護鮮隊 電報 一五號

全道 離北道 由日本人引揚ぐ希望者概数 (一〇〇単位)

群山 八三 全州 七〇 カンシツ ノ チンアンニ キンガンニ モシキニ

テ ヲ ス イ 三 三 ニ シ ツ 四 ナ ズ ェ ヲ シ ム セ ラ 三 井 邑 一 五 高 敵 三

フアン 六 金堤 ニ ヲ ヨク コウ ニ ハ エキ ガ シ ヲ

計 二 九 六

裡里

一六〇 印 連絡 班

0203

輸送

特系
軍參謀長

16. 11. 10.

16. 11. 40. (38)

東京

SR

コウセン電カ九。早
 コウセン電カ七八。早
 半島出身陸軍軍人並陸軍廣備
 人ノ朝鮮向テ還送亦悅及輸送也
 量至急承知度 追テ朝鮮(南鮮
 船舶隊)及西部軍ハコウセン電カ四七(早
 年)ニ關シテ速報スルヲ取計ラレ度
 本慶受レウセウセバ返
 通慶先各軍管區 五船司、一船司
 釜山新場

0204

至急

15. 19. 50

16. 13. 45

(20) 才一紙

軍参謀長

麗水

麗水軍運電ニ一紙

輸送

麗水水ニ集結シテ引揚ヲ邦人ノ輸送ニ用ニ當ル
 米軍政府ト接濟ノ結果明十六日全負約1000
 石ヲ海路ニテ倉山ニ運送スル事ヲ決シ因下準備中
 ナリ。米軍側ハ亦今奧地ヨリ麗水ニ集結セザ
 ルコトヲ要求シテアリ。集結者對シテ輸送幹
 線ハ實現施セザル旨申シテアリ。

ニ米軍側ノ要求依リ東塞ノ全兵器軍需品ヲ
 米ソウソウコニ集結ヲ開始セリ。
 完了ノ見込ハ概テ十九日ノ予定ナリ。

麗水軍運電加長

0205

普通

軍參謀長

一六〇部連電茅二張

軍隊輸送列車之混乗也一般邦人必金山之滞留之慘狀ヲ呈シ
了、風聲有ッテ人心安カラズ對軍不審ノ聲有リ
其真相迄ニ將來ノ見添ニ通報相類ニ度

17.12.45

17.14.30

中 茅二組

裡 呈

0206

至急

軍参謀長

丁酉一六日現在

天安集結邦人一一六九二名ナリ

京城師管区連絡班長

17. 11. 00
17. 14. 30

天安

第二組

0207

生至急

軍令多謀兵

16. 18. 30.

17. 11. 10.

第2組

震水

0208

震害速電才二三号

朝倉三電才二三号ニ付ニ自勝ハ
震水ニ帯留セルヲ引上ガキ村人ハ奉十二日始ト全道

約一千六百名半軍、指示ニ付、前軍ニ付全山
ニ向ケ出立セルヲ以テ、自勝村人、数十名ニ付

当連絡班ノ歸途、輸送ノ際、混雑セルヲ以テ、
度ナリ、山向スルニ十四日、以降、所屬水ノ内地

輸送ヲ停止セラルルニ付、奥地ヨリ震水ニ集
結スル者殆ドナシ、所屬水要需連絡班兵

一〇、一七、一三、三〇
大田 震天 ↓ 大屋山 終

急送

至急

10月19日 07時30分

以時五分

(中)

第二組

軍參謀長

大印

現地米軍ハ在留日本人ヲ揚振助ニ任ズキ日本軍隊ノ兵器
携行ヲ認メザルト共ニ其ノ自動車使用ニ関シハ使用ノ都度
米軍ノ證明ノ要ス異種々制限ヲ設ケ連絡班ノ任務達成
極々困難トシ状況ニ
本件ノ関シ至急米軍司令部ノ諒解ヲ得、現地ニ撤底方
取計ニ度

師管區參謀長

終

0209

二送

三六二號
世話會交付補助金使用状況件

至急 10月19日9時10分
軍管区参謀長
朝参電第三六五三番返
当擔任地域内地人世話會へ受領レアラズ

京城師管区連絡班長

12時0分

中

天安

第三組

終

0210

送

至急

十月六日

一四五

軍参謀長

釜山

中
13 一組

一九日ヨリ二日迄ノ四日間ハ釜山滞留邦人(三〇〇名)
ヲ一掃スルニ付二日迄他ノ地ニヨリノ鉄道輸送ハ
中止セラレ度

釜山軍連絡部長

0211

輸送

軍兵分謀長

護朝警備地区に於て之知人親敷及軍政混乘希望者数左如し

推筑(一)内、混乘希望者上

井邑郡 一〇〇 (七〇) 高嶺郡 五三 (五三) 水浦市 六〇〇 (六〇〇)

海南郡 三四六 (六八) 長城郡 一三八 (四) 計 一三二六 (六九四)

以上、内警備隊撤退者約四百名 混乘輸送スル予定ナリ

18,100
18,200

25

第一組

井邑

白高参謀

0212

輸送

軍連絡班長

護衛參電茅五口班

建國準備委員本部にて全鮮に亘り引揚邦人の荷物の輸送

停止の指令に有るモノは、最近至ル所にて荷物の抑留用相強奪

等有り避地ヨリノ引揚ハ全ク不可能ノ状況ナリ

釜山ニ於テハ一般荷物ノ輸送モ開始シ有ル模様ヲ判断スルニ米軍ノ

真意ハ抑留ハ不當ト為シ有ル非スヤ又當地米軍ノウチヨリ荷物

輸送ノ為何人モ防害スベカラスト認事ヨリ交付シ有リ此點無順

ヲ感シ有リ米軍司令部ヨリ建國各令ニ注意ヲ喚起スル故ク

指導相成度才願ヒス

18.14.45
18.21.00

茅一組

井邑

0213

輸送

普通

軍參謀長

18.14.35

18.21.00

中

第一組

一六〇部連電第五號
歩四六八軍内地帰還輸送時金山大田ニ出頭スルキ
休暇帰省軍人(家族ヲ含ム)ノ混乗ヲ許可セラルヤ
尚之等家族ノ乗車値金ハ別ニ支拂フベキモノナリヤ

0214

輸

至急

軍參謀長

一六四五

30

京城

一組

0215

不愛勇一六。予
 小谷參謀ヨリ武官參謀ニ連絡セル日本
 人ノ内地引上計畫ノ要綱ハ米芡ニ十四萬
 ニ依リ承認セラレタルニ付更ニ至急内細部
 計畫ヲ立案連絡セラレ度尙米芡トシテ八
 道輸送ノ現況ヨリ京城仁川地ニ約十九萬
 ハ仁川ヨリ乘船セシムル如ク希望シアルニ付配
 船ニ肉シ東京ニ要求セラレ度本件ハ米芡ニ十四
 軍ヨリモ東京ニ連絡スル等狀況ニ依リ仁川ヨ
 リ米芡ノ船ニテ一部輸送ヲ協力スルユトモアル
 念ト故ニ全部釜山ヨリ乘船スル場合ト一部仁
 川ヲ使用スル場合トノ立案ニ付計畫ヲ進メラシ度

至急電報

受付(原書) 一三〇

軍参謀長

釜山

輸送

一九日ヨリ二一日マテ、四日間、釜山帯南邦人

(二二〇品名)ヲ一掃スルニ付二一日迄他ノ地區ヲ

、鉄道輸送中止セラレ度

釜山連絡部長

0216

乃下

三、常備者手續二箇之指令ハ由司令人

部弁一主題下洛州島弁佐世保向个は

在(綴退) (一九四五、十月十日)附 TFGC T

三七〇〇五)ノ才四部 A B 及 Cニ詳述セル如

四、必要ト認ケル手段ヲ構ハテ非許アリキ

物ノ船舶輸送ハ雨降ルマレ

五、日本向合法帰還者乗船ノ船舶ニ対シテ

ハ C G F 又ハ白地返代表者ト連続

テ取リ其ノ航路ノ安全ヲ擔保スル

六、日弁人乗船信在在記宛報告スル

左記略

七、報告在在ノ事項ヲ以テ云ベシ

一、船番号又ハ船名ニ出帆時刻ヲ出帆港

二、日本在在ノ到着日 三、日弁人乗船名

四、日弁人乗船名 五、日弁人乗船名

0218

10月19日 10時00分
14時00分

軍參謀長

又電第一七四號

引揚邦人、輸送計画、閣下へ昨一日以降米第二四軍、

意向急変し再三再四心情ヲ披瀝シテ切に貴方へ申入レ其

輸送、甲斐ナク本輸送ハ左ノ如キ最後の指示ニ接シテ以テ

誠ニ遺憾至極ニ存スルモ取急ギ報告ス

引揚邦人、輸送ハ軍政廳ガ計画シ米第四〇七六(アス

カ)第三四)カ之ガ貴方施ニ當ル(但シ軍政廳ノ計画ハ朝

鮮軍ノ計画ト類似ス)朝鮮軍ガ陸軍省ヨリ命令シ

テ輸送ノ統制、指導ノ責任ハ如何ト貴方ニ對シテハ

京成

14 第二組

0219

責任解除を以て近日中陸軍省より朝鮮軍に此
 旨命令せらる様至意(マシカサ)司令部連絡ストリ
 二大田軍司令部部、済州島、輸送完了、内地、帰還を以
 三予定より更に人員ヲ減少せし度、尙最近迄残存
 人員ヲ報告せし度ト(済州島輸送ハ十月三、四日頃より
 開始シ一月ヲ以テ終了スル予定ト)
 三左記ニ日本軍連絡所ヲ残置ナシト
 京城(二四軍司令部及第七師団ニ対シ連絡)
 仁川(アスカラ第三四ニ対シ連絡) 新設
 釜山(四師団ニ対シ連絡)
 全州(六師団ニ対シ連絡) 新設
 各連絡部ハ長以下約一五〇人ヲ標準トシ連絡力ニ

一ノ一

人員數ヲ決定報告セシ度ト、但シ釜山ニ於テハ現ニ米第

四師團カ使用中ノ約ニ〇〇名、兵力、及釜山陸軍病院

(約ニ〇〇名)ハ當分、間残置置留ト

四書方ノ意見トシテ仁川連絡部長、京城連絡部長之ニ

兼任スルヲ可トシ約一〇〇名、人員(詳細ハ後報)ヲ増加

セシ度

五、米第六師團ハ群山及木浦ヲ使用シ引揚ル日本人輸送

ヲ實施スベキ命令ヲ受テ居ルハ群山、木浦要員トシテ

金州連絡部ニ五〇名、他ニ更ニ若干増加スルコトヲ

併シテ増加人員數ニ別ニ米軍ヨリ指示スルコト

ナリ

六、残置連絡部、任務如何ト會同ニ對シ、米軍ト連絡
 情報、交換、北方ヨリ帰還スル兵ノ收容等ト對シ、南方
 判断トシ、米各師團ノ實施ニ邦人ノ引揚、其他、國內
 面的指導ノ主トシ、業務初ニモトモ、参考トシ、
 七、軍司令部、連絡部以外、日本軍隊ノ引揚、輸送、近ク
 開始、（どうにも）計画ハ別ニ指示ス
 八、京仁地ニ、休暇軍人、及同家族ノ輸送モ、（亦）軍政廳ニ
 於テ、計画シ、二三日頃、開始シ、一月末迄ニ完了スルト
 九、以上ハ口頭ニ以テ指示セラルルニ、近ク之、周知書類ヲ交付
 セラルル筈ナリ

終

0222

緊急

九、一〇

ノ

釜山組

軍參謀長

釜山

一、引上邦人ノ輸送ハ十八日ヨリ開始セラレ十八日

六、四三八ノ名ヲ乗船セシメタリ

二、十九日八七〇名二十日六〇〇名二十一日九〇〇名

名ヲ輸送ノ予定ニシテ現ニ釜山滞留日本人

ハ二十一日迄ニ掃スル見込ナリ

三、現在ノ朝鮮海峡ノ船舶輸送力ハ一日平均

六五〇名ニ付右ヲ基準トシテ鉄道輸送ヲ

立テラレタシ

通電先大田、京城

釜山連絡部長

0223